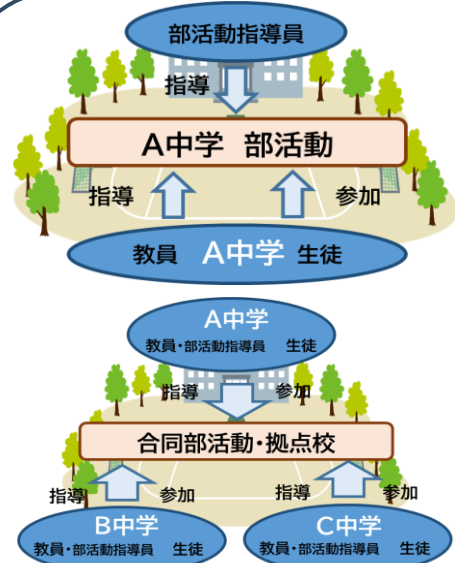


令和6年度 第1回 部活動の在り方研究及び 地域連携・地域移行に関する有識者会議

大阪市教育委員会事務局指導部 保健体育担当

- 1 本市の方向性
- 2 昨年度の取組み
- 3 今年度の取組み
- 4 おわりに ～第2回有識者会議へ向けて

学校部活動の地域連携



部活動指導員の配置(H30～)

拡充

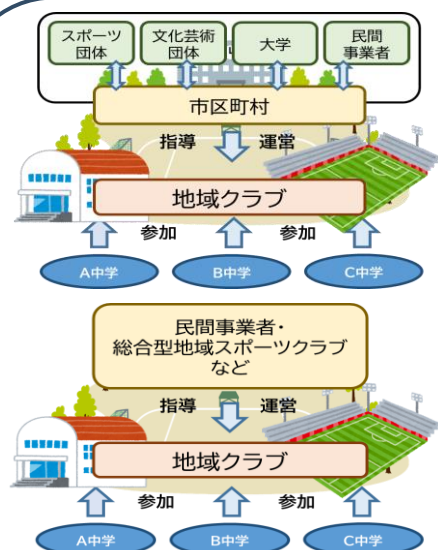
合同・拠点校方式による部活動

継続して推進

※合同活動方式・・・1つの部活動種目において、複数校の部活動が集まり活動する
 ※拠点校方式・・・在籍校に部活動種目の設置がないため、種目設置がある拠点校で活動する

子どもたちの活動環境の確保のため、小規模校などニーズの高いところから、部活動を学校単位からグループ単位へと近隣校を含めた部活動改革を推進。

休日の新たな地域クラブへの移行



将来にわたって子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に触れる
 機会の確保に向け、種目・実施回数の拡充や、利用施設等につ
 いて検証を重ねながらモデル事業を実施

自治体運営の地域クラブのモデル研究 … R3・4実施
 民間事業者へ委託し地域クラブのモデル研究 … R5～ 実施

平成25年大阪市立桜宮高等学校での体罰事案を受け、プレイヤーズファーストに基づく大阪市部活動指針を策定、その後の改定(平成30年・令和2年)を経て、教員の働き方改革と合わせ部活動のあり方の改革に取り組んできた。

【学校部活動の地域連携の取組み】

- 部活動指導員・・・平成30年度から順次拡大
教員に代わって顧問として指導・引率できるスタッフの配置による顧問教員の負担軽減
専門的なスキルを持つスタッフの指導による部活動指導の質の向上

<配置人数の経過>



部活動設置数1648部、部活動指導員配置682人、部活動全体の41%に配置

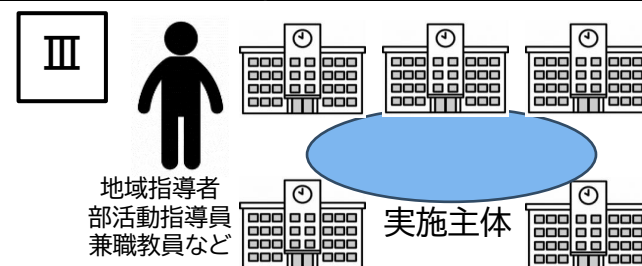
※**運動部**543人/1066部(**51%**)、**文化部**139人/582部(**24%**)

- 合同・拠点校方式
 - ・令和6年度秋季総体では、ラグビー部:19校、軟式野球:17校が合同チームで参加
 - ・生徒の活動機会の確保、顧問教員の負担軽減の推進

1-③ 本市の方向性 休日の新たな地域クラブへの移行

4

	R3	R4	R5
事業	スポーツ庁 地域運動部活動推進事業 「桜宮スポーツクラブ」	スポーツ庁 地域運動部活動推進事業 「桜宮スポーツクラブ」	経産省 未来のブカツ実証研究 「市内拠点モデル」
実施地域	1区 ・都島区 全5中学校	1区 都島区 全5中学校	3区 ・西 区 全3校 ・東淀川区 3/8校中 ・東住吉区 3/6校中
実施拠点等	・桜宮高等学校	・5中学校(単独校型) ・5中学校(複数校型) ・桜宮高 (都島+近隣区:福島・北・旭)	・各区(近隣複数校) ・都島区【特別企画】桜宮高 (都島+近隣区:福島・北・旭)
実施コマ数 (1コマ2時間程度)	10コマ	41コマ	8コマ
実施者	教育委員会事務局	教育委員会事務局	大阪成蹊大学 教育委員会事務局
指導者	オリンピック+高校教員	オリンピック等トップアスリート・高校教員・部活動指導員・兼職兼業教員	トップアスリート・民間事業者・大学教員・部活動指導員
			民間事業者へ委託 ・リーフラス(4区)
			民間事業者雇用指導者 ※桜宮SC: オリンピアン等トップアスリート・高校教員



単独

複数

広域

R4 都島区5中学校(単独校型)

R3 桜宮スポーツクラブ(都島区)
R4 都島区5中学校(複数校型)
R4 未来のブカツ(西・東淀川・東住吉区)
R5 各区 近隣校(東淀川・都島・西・東住吉区)

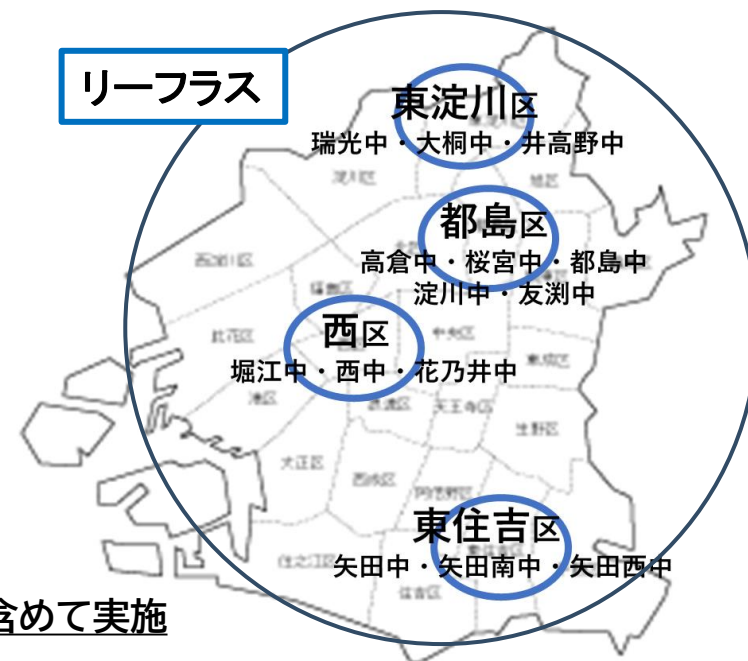
R4・5 桜宮スポーツクラブ(都島・福島・北・旭)

目 的

- 受け皿となる民間事業者及び指導者の確保
- 生徒・保護者への事業周知
- 生徒・保護者へのニーズ調査
- 学校施設の鍵の管理方法について、民間事業者と学校で検討

事業内容

- 受注者 リーフラス株式会社
 - 10月～2月で活動実施
- ① 4拠点でのモデル事業 @東淀川、都島A・都島B、西、東住吉
各拠点(2～3中学校単位)において7～8種目、平日の活動や文化部も含めて実施
 - ② 都島区【特別企画】桜宮スポーツクラブのモデル事業 @桜宮高校
都島区及び近隣区を対象に6種目を実施 (水泳・ダンス・柔道・ボート・男子バレーボール・女子バレーボール)



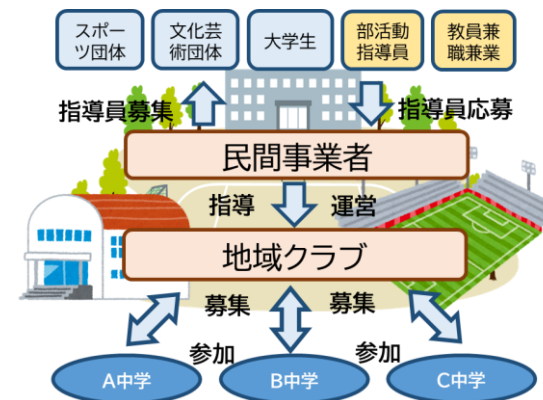
◎ 既存の部活動

- ・ 学校単位
- ・ 所属した種目のみ



◎ 4拠点モデル事業

- ・ 民間事業者へ運営委託・他校生との交流
- ・ 様々な種目を選択可能



R5課題		R6 改善ポイント
本事業の 理解促進	周知活動の促進 認知度アップ 参加生徒数の確保	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各拠点において、生徒・保護者への案内チラシ及び広報誌を年間5回程度配布 ➤ 顧問教員との事前打合せや随時の意見交換、関係者による協議会の開催等
内容の充実	各区24コマ程度	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 年間を通じて活動できるよう、1学期から翌年1月末までの期間で、各区80コマ(種目×回数)へ拡充
	実施種目の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ➤ レクリエーション部・マルチ部(シーズン制)など新しい種目の導入を検討 ➤ 顧問教員が部活動指導に困っている種目を導入、積極的に指導を希望する部活動指導員や兼職兼業教員等が実施する種目も導入
環境の整備	施設利用の調整 利用コストへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2～3校程度の拠点を基本としつつ、実情に応じて校数を増減し実施施設を確保 ➤ モデル事業対象校以外の施設(新設校、民間施設など)の活用を検討
指導者確保	研修・指導・管理の対応	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域の指導者の他、熱意のある部活動指導員や兼職兼業教員も研修後、クラブ指導者として活用

事業者の選定について 令和6年度部活動の地域移行事業 業務委託

○ 経過

- 本市は令和3年度より**スポーツ庁から実証事業の委託を受けてモデル事業を実施。**
- R6年度は年度当初からの事業実施に向け、公募型プロポーザル方式にてR6.3月中旬4拠点すべてにおいてリーフラス株式会社を選定。
- R6.3月下旬、リーフラス株式会社がスポーツ庁事業受注の内諾を得たため、**辞退届**を提出。

○ 対応

- ① **東淀川区**においては、**次点候補者**へ契約交渉
- ② **他の3拠点**においては、**再度公募型プロポーザル方式をやり直す**

3拠点においては**10月より事業開始**(実施回数縮小)

- 企画提案書 : 3事業者からそれぞれ3拠点の提案書が提出される。
- 選定審査 : 3拠点すべてにおいて1社を選定

東淀川区



コナミスポーツクラブ株式会社

都島区・西区・東住吉区



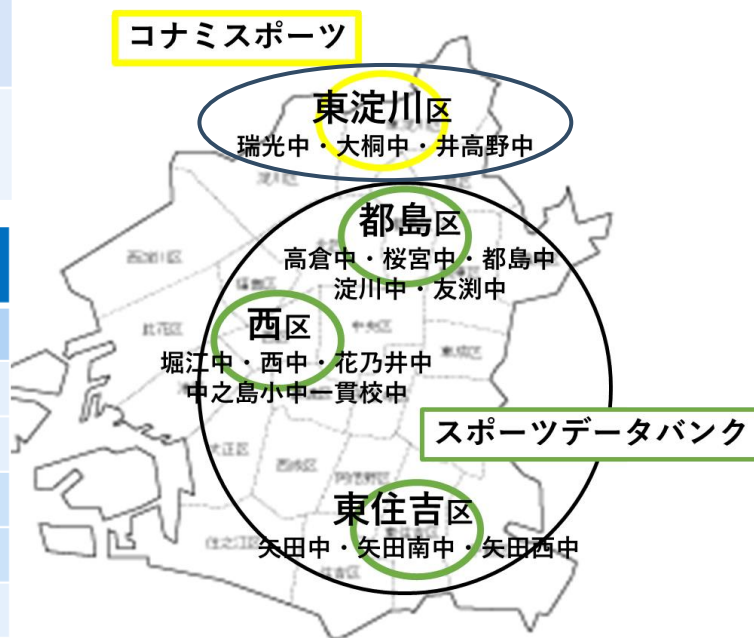
スポーツデータバンク株式会社

拠点	都島区：高倉中・桜宮中・都島中・淀川中・友渕中 + 特別企画 西 区：西中・花乃井中・堀江中・中之島小中一貫 東住吉区：矢田中・矢田南中・矢田西中	東淀川区：瑞光中・井高野中・大桐中
期 間	10月以降活動スタート～令和7年1月末まで	7月活動スタート～令和7年1月末まで
実 施	各区40コマ(種目×回数) + 特別企画10コマ(中高連携)	80コマ(種目×回数)へ拡充
受注者	スポーツデータバンク株式会社	コナミスポーツ株式会社

拠点共通

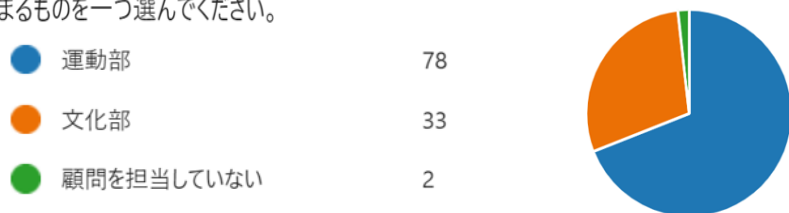
指導者	R6年度は部活動指導員や地域の指導者、兼職兼業教員の活用を検討。
種 目	各校で休日の部活動指導に困っている種目、シーズン制の実施種目やレクリエーションなど新たな種目も検討する

区	実施種目(予定)				
東淀川	水泳	ダンス	卓球	バドミントン	ギター
西	卓球	バレー	陸上	水泳	ダンス
	書道	プログラミング	eスポーツ	漫画・イラスト	—
東住吉	サッカー	男子バスケット	女子バレー	バドミントン	卓球
	柔道	少林寺拳法	ダンス	漫画・イラスト	—
都 島	卓球	柔道	陸上	硬式テニス	水泳
	ダンス	ボッチャ	書道	漫画・イラスト	—
	【特別企画】	水泳	バレー	ボート	柔道

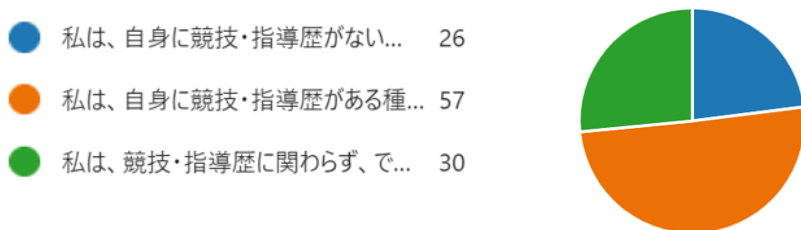


3. あなたが顧問を担当している部活動（複数担当している場合は、「主として担当している部活動」。以下同じ）について、あてはまるものを一つ選んでください。

（本市新採用中学校教諭113名から回答）



6. 部活動顧問について、あなたの考えに一番近い項目を一つ選んでください。



8. あなたが教員を志望した理由について、あなたの考えにあてはまるものをそれぞれ選んでください。

■ 非常にあてはまる ■ あてはまる ■ どちらとも言えない ■ あてはまらない ■ 全くあてはまらない

子どもが好きだから

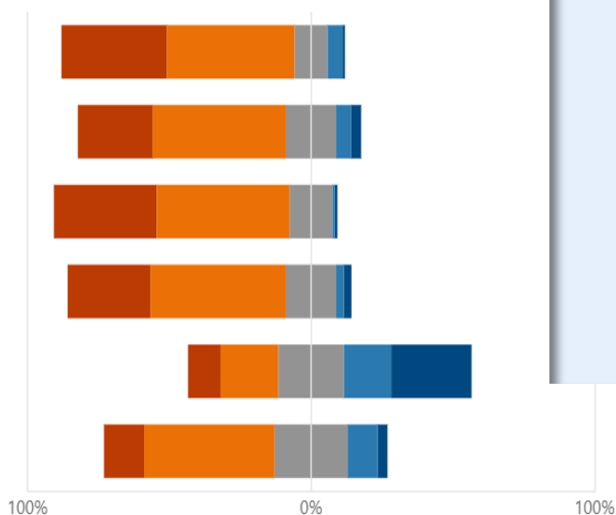
教科の勉強が好きだから

人を育てる仕事だから

人に教えることが好きだから

部活動の指導をしたいから

安定していて長く続けられるから



3. 現在の配属について

運動部	69%
文化部	29%
顧問担当なし	2%

6. 競技・指導歴と配属について

指導歴に関わらず指導する	23%
競技や指導歴があれば構わない	50%
指導歴に関わらず指導したくない	27%

8. 教員を志望した理由について

部活動指導が教員志望の大きな理由

非常にあてはまる	12%
あてはまる	19%
どちらでもない	4%
あてはまらない	17%
全くあてはまらない	28%

- ◆ 学校部活動の地域連携進捗報告
- ◆ R6 部活動の地域移行モデル事業報告
- ◆ 来年度に向けて